

# 活動の経緯

「宮つく」

宇都宮・高校生  
まちづくりプロジェクト

# これまでの経緯

## ～とちぎ未来創造会議～

県内で課題解決型プロジェクトを生み出すことを目的に、  
2013年10月から約半年間開催。(約60名が参加)



# これまでの経緯

「子どもチーム」の私たちは、  
「とちぎ高校生カンパニープロジェクト」を発案しました。

みなさんご存知ですか？

今、多くの子どもたちが

**孤立** しています！

議論を重ね、  
大切なのは、

子どもたちの **自立** をサポート

することだ！と気づきました。

そして、私たちが新しく  
立ち上げるプロジェクトは、

**とちぎ高校生カンパニー  
プロジェクト**

です。

例えば、こんな取り組みが生まれるかも！

日光市

地元の女子高校生が案内する、  
日光ガールズツアー企画！



さくら市

廃校を使い、年配者向けのパソコン  
教室・インターネット教室を開催！



野木町

間伐が必要な竹林の竹を使って、  
商品開発！



などなど...

とちぎ高校生カンパニー  
プロジェクト

小中学生



すごい！

僕らも  
回かやって  
みたい！

地域の年配層



すごい！

わたしらも  
負けられね  
えな！

課や先生



すごい！

びっくり！  
いやー、  
見直した！

高校生が、自分たちだけでつくる  
事業プロジェクト！

**失敗したっていい！！**

失敗を通して学ぶことは、  
たくさんある！！

「失敗できる場がある」こと  
そのものが、「自立」のためには  
重要なのです！

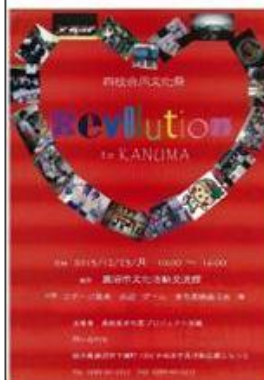
# これまでの経緯

## 鹿沼・高校生まち変プロジェクト会議

「大人の押し付け」ではなく、高校生自身が自分たちで企画を考え、実施・運営したプロジェクト！



出した成果は、イベントの実施、映画の制作と上映



映画「ネコの案内人」上映



(大人のサポートも受けながら)  
ジェラートの商品開発&販売も実施！



なんと1800個販売！  
利益17万円！！



# これまでの経緯

2014年5月31日(土)と6月28日(土)に、  
宇都宮の高校生の皆さんと対話ミーティングを開催

## グループごとの話し合い②

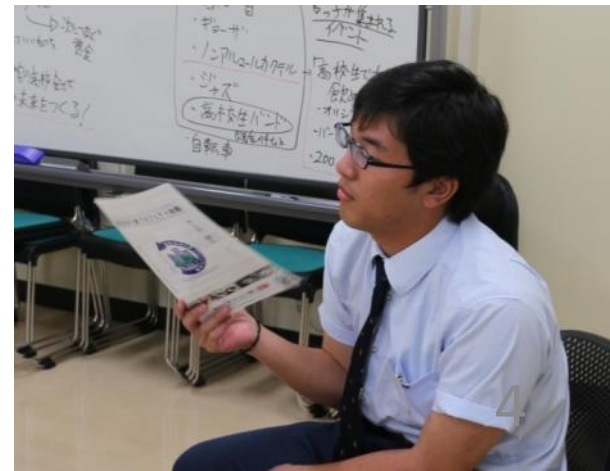
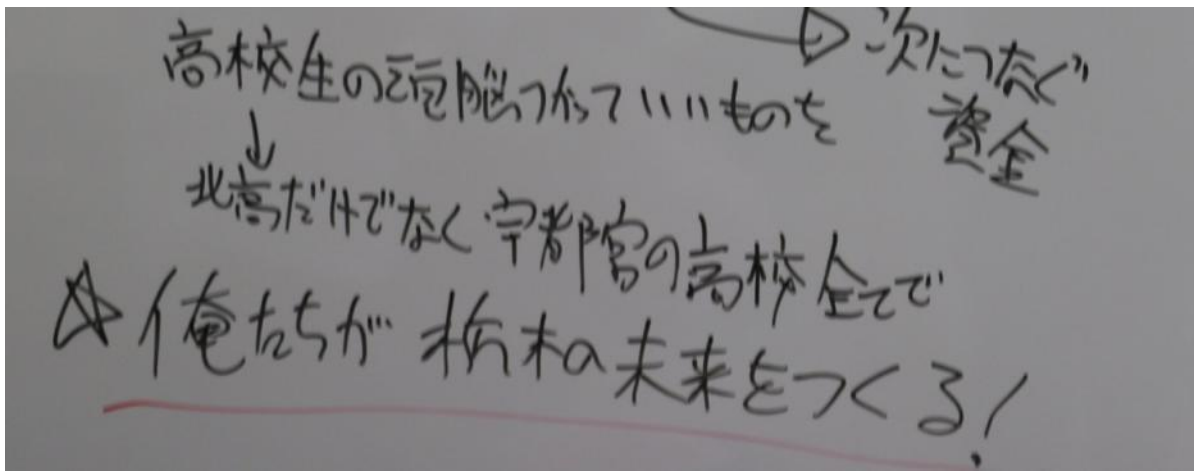
～テーマ～

「こんなことやってみたいな、  
できたらいいな」ということ

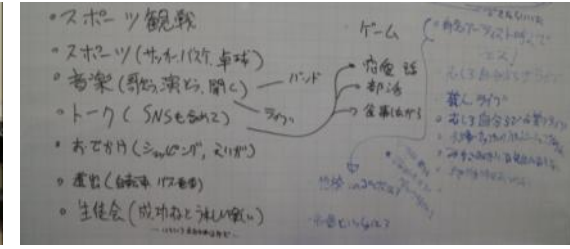
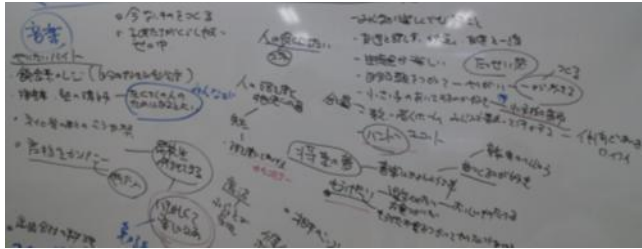
\*もちろん「妄想」でOKです！\*  
\*大人の皆さまもぜひ考えてみてください！\*

①まずはポストイットに思いつくものを書き出してみましょう。〈2分間〉

②グループごとに話し合いをしてみましょう！〈20分間〉



# 高校生たちの思い



## 自分たちの力で、今ないものを作りたい！

高校生は何でもできる。

学校では出会えない、いろいろな人たちと交流したい。  
そして学びたい！

自分の頭をつかって考え、それを形にしたい！  
達成感を味わいたい！

社会に出たら正解のない課題ばかり。  
今から「考える力」をつけていきたい！

## 人の役にたちたい！

自分はどんなことができるのか、したいのか、  
体験しながら考える機会をつくりたい。

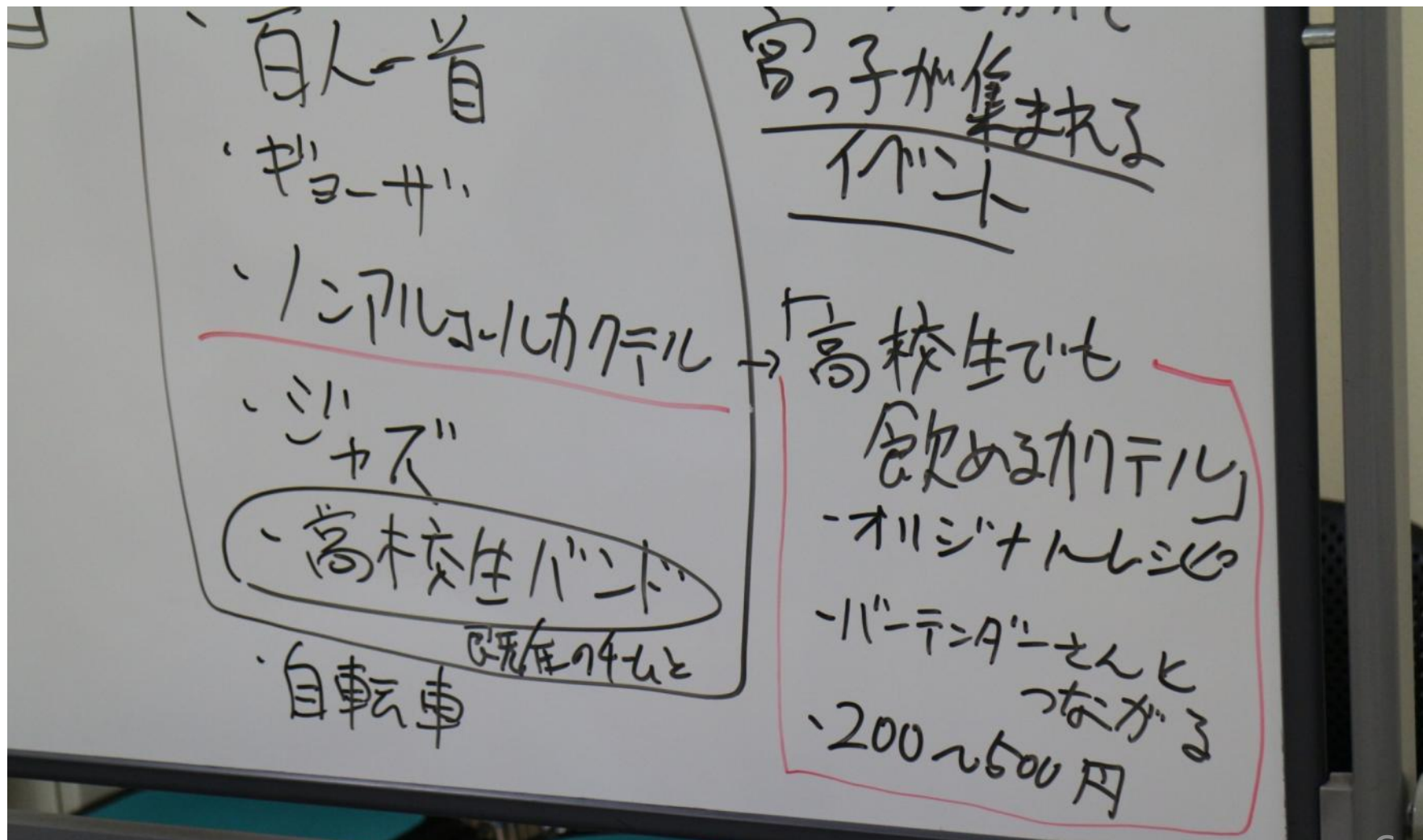
お金をつくる体験をしたい。

「宮っ子」の力をあわせたい。

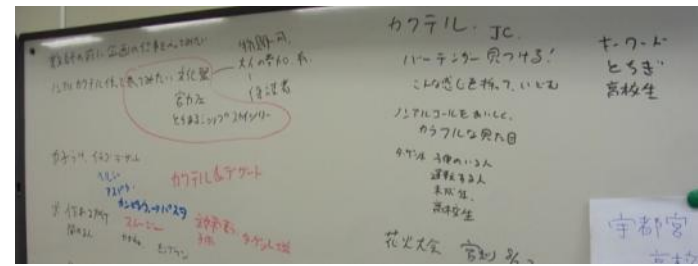
僕たちで栃木の未来をつくっていききたい！

# 高校生たちの思い

※2014年5月31日(土)の対話ミーティングメモ



# なぜ「ノンアルコールカクテル」なのか？



◎宇都宮は「カクテルの街」とのこと。でも高校生は皆、「僕らには関係ない話」と思っている。「カクテルによるマチづくり」を進めるのであれば、高校生にも関わりが持てるようなモノがあって欲しい。

◎宇都宮の高校生が考え作った「ノンアルコールカクテル」。もしかするとニュースになるかも知れない。そうなれば「カクテルの街・宇都宮」のPRにも貢献できるのでは？(県外の人にも) アイデアを形にする機会を持ちたいと思うし、何かの役に立ちたい！

◎私たちも、ちょっと「背伸び」してみたい時があります。花火大会、イベントやパーティーなど、少し大人っぽい気持ちで、おしゃれな時間を過ごしたい。そんな時に合う飲み物が欲しいです。

◎普段出会えない人と出会いたい。宇都宮の街に誇りを感じている、そんな人の話を聞きたいし、一緒に何かができる嬉しい。バーテンさんのお話を聞き、一緒にレシピを作ることで、**人生の勉強**にきつとなると思う。

# 高校生のアイデア

## 「カクテルの街・宇都宮」の高校生がつくった カクテルテイスト飲料

- ◎栃木の果物や素材を(できれば)使用。
- ◎「香り」と「甘さ」と「見た目」が楽しめる。
- ◎いろいろな味が楽しめる。

ベリーミックス

いちご(とちおとめ)テイスト

フルーツミックス

抹茶テイスト

カルーア・ミルクテイスト

ブラッディー・マリーテイスト



# 7月9日 宇都宮観光コンベンション協会さんにご相談

高校生の思いやアイデアをどのようにしたらカタチにできるのか、高校生メンバーの代表と宇都宮観光コンベンション協会さんにおうかがいし、宇都宮カクテル倶楽部ご担当の中島寿典さんにご相談しました。

中島さんにはその後も打ち合わせに同席していただいたり、アドバイスをいただくなど、多くのご支援をいただきました。



# 7月30日 宇都宮カクテル倶楽部の清野代表と面談

7月30日に、宇都宮カクテル倶楽部の代表幹事・清野一人さんにお会いしました。高校生から自分たちの思いを伝え、清野さんからノンアルコールカクテルづくりのアドバイスをいただきました。

清野さんとはその後も何度も打ち合わせを行い、オリジナルレシピづくりのご相談やカクテルづくりの練習など、多くのご支援をいただきました。



# 「カクテルナイト」への出展が決定

宇都宮カクテル倶楽部様のご厚意により、9月14日(日)に宇都宮のオリオンスクエアで開催されるイベント「カクテルナイト」への出展が決定。

◎高校生のプロジェクト名が決定。

## 「宮つく (宇都宮 高校生まちづくりプロジェクト)」

- ・メンバーは、宇都宮北高校に所属する有志4名(3年生2名、2年生2名)
- ※学校としての取り組みではなく、個人としての参加になります。

◎出展は15:30~18:00

◎2種類のノンアルコールカクテルを販売予定

◎高校生がバーテンダーの格好をしてその場で作り販売  
・1杯500円(200杯限定)

◎目的は、宇都宮のまちづくりに高校生がかかわり、経験や学びを得たり、宇都宮のPRに貢献すること。



# 「カクテルナイト」で販売するノンアルコールカクテル

## 2種類のノンアルコールカクテルを販売

※バーテンダーと高校生による共同開発

### ①ハイスクールルビー（ビルド）

レモンの果汁をしぼりだし、トニックウォーターを加え、最後に赤色のざくろのシロップを加える

### ②ピーチサファイア（シェイク）

桃のシロップとグレープフルーツジュースをシェイクし、最後に青色のオレンジのシロップを加える

※試飲と意見交換の様子(高校生)



※ノンアルコールカクテルづくりの練習の様子



# 事前告知

栃木のユースト「ミヤラジ」に出演。(9月10日)



<http://www.miyaradi.com/2014/09/10/%E3%83%9F%E3%83%A4%E3%83%A9%E3%82%B8-%E6%BA%96%E5%82%99%E6%94%BE%E9%80%81no171-%E5%89%8D-%E5%BE%8C%E7%B7%A8/>



# 「カクテルナイト」の様子(9/14)









◎イベント来場者数は過去最高の約7000名。

◎高校生は、15:00～18:00で150杯販売。  
※75000円の売り上げ

◎取材を受けた新聞は3紙。高校生がまちづくりにかかわることに強く興味を持っていた。

◎イベントに参加したバーテンダーも高校生に刺激を受け、「もっとカクテルの街・宇都宮を盛り上げていきたい」との思いを抱いたとのこと。





行楽

4ヶ月間だけでしたが  
とても充実した期間だったと思います。

「宮っく」として活動できたことは、  
ご自身の自分のために役立つこととして  
生かしていきたいです!!

ワケテライト当日も  
「宮っく」活動も  
本当にお世話になりました!  
ありがとうございました!  
広報担当 菅野

大木さん

「宮っく」として、活動できたのは、  
大木さんのおかげです!!!  
ワケテライトまでの4ヶ月間、これから先、忘れたこと  
最初から最後まで、本当にお世話になりました。  
大木さんがいてくれて、本当に4ヶ月を過ごせました。  
早くお会いしたいですね!!

柴田 萌花

私に「宮っく」  
にアルコールを販売していただくことに  
ようです。ありがとうございます!  
ごまごま本日は大木さんとの  
出会いがあってこそでした!  
僕が大人にならな大木さんに  
お世話になりました。  
私たちが子どもの「おたけ」  
という気持ちで実現が  
手伝ってくださる大人に  
なりたいと思います!  
本当にお世話に  
なりました!  
大野 啓成

本日の販売は

連休中日イベントにぎわう

中心市街地の屋外でカクテルを楽しむ「宇都宮カクテルナイト」が14日、宇都宮市のオリオンスクエアであり、地元のパートナーたちが自慢のカクテルを振る舞った。

市内のバーなどでつくる宇都宮カクテル倶楽部主催の恒例イベントで6回目を迎え



宇都宮カクテルナイト 高校生も「ノンアル」出品

た。今回は計37種類のカクテルを用意。午後3時～8時半の間、ブースを設けて1杯500円で提供し、来場者たちは料理と一緒にグラスを傾けなが

らステージ演奏や会話を楽しんだ。

今回は高校生によるまちづくりプロジェクトの一環で、市内在住の高校2、3年の男女3人がパートナーとして初参加＝写真。自分たちが考案したザクロ味と桃味のノンアルコールカクテルを2種類

提供した。1カ月練習を重ねたという3人は、緊張しながらも手際良く手を動かしていた。

参加した大野智成君（3年）は「お客さんに見られながら作るの

はやっぱり緊張した。良い経験になったし、多くの人に助けられて実現したので感謝したい」と笑顔だった。

（藤原哲也）

行楽日和を満喫

「本場結城紬」を体験



糸つむぎを体験する小学生たち

14日の県内は、オホソク海から張り出した高気圧の影響で晴れ間が広がり、絶好の行楽日和となった。3連休の中日とあって各地で様々なイベントが開催され、多くの人でにぎわった。

県内の小中学校の教員で、作るサークル「TOSOS栃木」は、小学生を対象とした「本場結城紬」の体験講座を支援センターで開いた。24人が参加し、センター職員から真綿を引っ張る際の力加減やコツを教わりながら糸を紡いでいった。機械の見学では、職員から「本すずみ織っていく作業で手間はかかるけど、完成した時は爽快」と説明を受けた。下野市の小学5年、若林広佑君（10）は「1点織り上げるのに1年もかかると聞いて驚いた。とても勉強になった」と話していた。

自転車で日光疾走  
自転車で日光市内を巡る「ツール・ド・NIKKO 2014」が同市瀬川の日光だいや川公園を発着点に行われ、全国から集まった約2000人の自転車愛好家が参加した。

市と自転車ロードレースのプロチーム「宇都宮アリスツェン」の運営会社などによる実行委員会の主催。参加者は鬼怒川温泉や霧降高原、日光杉並木街道など



「大きい」とカボチャに腕を回す子ども

巨大カボチャざらり

カボチャの重量を競うコンテスト「第9回でかぼちゃまつり」が、那須町高久内の「那須りんどう湖LAK E VIEW」で始まった。会場には、同町などの農家から出品された30kg以上の巨大カボチャ77個がざらりと並んだ。

今年の優勝者は、同町寺子乙の農業山崎学さん（51）の114.9kg。山崎さんは「カボチャの表面が本来のオレンジ色にはならなかったが、優勝できて良かった」と喜んでいて。会場では来場者による種飛ばし大会や、重量当てクイズ、美かぼちゃコンテストも行われている。展示は10月5日まで。



笑顔でゴールする参加者たち

自然や歴史豊かな市内各地を疾走した。埼玉県熊谷市の公務員増尾峰健さん（47）は「空がきれい、空気もさわやかだった。最後の坂がきつかったが完走できてよかった」と晴れやかな表情を見せた。

カクテルに舌鼓  
宇都宮市のオリオンスクエアで、カクテルの街をアピールするイベント「宇都宮カクテルナイト2014」が開かれた。

今年は、高校生による街づくりプロジェクト「宮つぐのメンパージュ」が、街の活性化に自分たちも貢献したい」と出店。さくろシロップを使った「ハイスクルールビ」などノンアルコールカクテル2種類を各100杯販売した。代表の菅野加奈子さん（18）は「パートナーの技術を覚えるのは大変だったけど、予想以上に売れ行きが良くてう



れしい」と笑顔を見せた。イベントでは、ジュースバンドやゴスペルなどの音楽が流れる中、大勢の人たちが色とりどりのカクテルに舌鼓を打った。

高校生が作るノンアルコールカクテルも人気を集めた

**まちなか支局**  
 〒338-0802 宇都宮市江野町8-12  
 TEL:0908-1021 FAX:0908-1024

うつのみやを楽しんでいますか **We Live in Utsunomiya**

# 高校生バーテンダー登場

「高校生だってカクテルの街を盛り上げたい!」。江野町のオリオンスクエアで14日に開かれた「カクテルナイト」に高校生バーテンダーが登場、自分たちが考案したオリジナルノンアルコールカクテルを販売した。プロ顔負けのシェイカーさばきで約150杯を完売。高校生たちの熱い挑戦に密着した。(佐野恵)

3人。始まりは何げない会話だった。「カクテルの街って知っていても、宇都宮の高校生は自分に関係のない話だと思っている。それって残念だよ」

### ●プロの指導で修業●

思い立ったらすぐ行動。県が進めてきた「とちぎ未来創造会議」の元メンバーで宮つくの活動をサポートしている大木浩士さん(45)＝さいたま市＝と5月から会議を重ね、「ノンアルコールカクテルの開発」にたどり着いた。「青伸びしたい時に飲みたい」。イメージはどんどん膨らんだ。

高校生のフレッシュな挑戦は宇都宮カクテル倶楽部の耳にも届き、カクテルナイトへ招待された。市内の一流バーテンダーが一堂に会する最高の舞台だ。「恥ずかしくない1杯を作る」。延特訓が始まった。

## 14日のカクテルナイト

主人公は、高校生が地域活性化について考える「宇都宮・高校生まちづくりプロジェクト『宮つく』」代表で3年大野哲成さん(18)と同菅野加奈子さん(18)、2年柴田萌花さん(16)の市内の高校生

ノンアルコール  
150杯完売



夏休みは宿題の傍ら、同倶楽部代表幹事の清野二人さん(50)が営む「ヴァルズ・バー」(二荒町)で修行。清野さんと「バー・バンビーナ」(本町)の吉田智晴さん(38)からシェイカーの振り方から接客までを徹底的に学んだ。「手が震える」「ふたが開かない」。苦戦しながらも、一流バーテンダーの指導でこつをつかむ3人。さすが飲み込みが早い。

### ○制服を脱いで変身●

試行錯誤を重ね、味と名前も決まった。ザクロシロップを使った赤色の「ハイスクールルビー」と、青と黄色のグラデーションが美しい「ピーチサブアリア」の爽やかな2種類だ。

ついに迎えた本番。制服からバーテンダー姿に変身した3人は、表情も輝き始めて見える。格好いい。

「ハイスクールルビーをお願いします」。早速、最初の注文だ! 担当は菅野さん。パースプーンを持

つ手は少し震えたが、鮮やかに1杯を作り上げた。笑顔で手渡すと、すぐメンバーを振り返り「緊張した〜」。やはり高校生だ。

途中ステージ上で紹介されると、ブースの前には長蛇の列。まさにてんてこ舞い。その姿に来場者からは「慌てなくていいよ」と温かな声を送られた。

### ●新たな名物誕生?●

高校生はプロのブースより少し早い午後6時に終了。約3時間で151杯を販売する盛況ぶりだった。柴田さんは「疲れたけどそれ以上に達成感がすごい。高校生でもここまでできるんだ」と興奮冷めやらぬ様子。大野さんは「おいしいと言ってもらえて本当にうれしい」とほかにかんだ。

最後は全員でカンパイ。開発したノンアルコールカクテルは商品化も視野に入れている。高校生の力で新たな宇都宮名物が生まれる日は、そう遠くないかもしれない。

オリジナルノンアルコールカクテルづくりに挑戦した石から菅野さん、柴田さん、大野さん

北欧柄のユニークな名前

# 宇都宮の高校生の 挑戦の機会づくりプロジェクト

## 第二弾・ミュージックフェス企画

### 企画メモ

2014.12.20 改定版

宮つく(宇都宮・高校生まちづくりプロジェクト)



# 企画概要案

## ■開催日時

・2015年7月ごろ(日曜日を予定) 時間は12:00～16:00ごろを想定

## ■開催場所

・未定

※現状の一番の課題(2月末までには会場の予約をしておきたい)

## ■出演者

- ・①バンド(宇都宮+宇都宮以外)
  - ・②ダンス系パフォーマンス
  - ・③その他(歌、和太鼓など、音楽に関係あるもので)
- ※出演者数は10組程度を想定

## ■参加費

・要検討

※有料の場合の金額は要検討

## ■主催(後援・協力)

・宮つく(宇都宮・高校生まちづくりプロジェクト) 仮

# 実現したいこと

- ◎自分たち高校生の思いやアイデアをカタチにする体験をしてみたい。
  - ※体験を通して、学校では学べない「正解のない課題に立ち向かう力」「発想力」「自分らしい表現力」などを学ぶことができると思う。
- ◎高校生同士の横のつながりを少しでも増やしたい。
  - ※他校生との交流がまったくないのは、とてももったいない。
  - ※いろんな人たちと知り合うことで、学びや刺激が得られると思う。
- ◎活動を通して大人の人たちとも出会い、学んでいきたい。
  - ※「キャリア教育」の観点からもぜひそのような機会が欲しい。
- ◎イベントを行うなら多くの高校生が関心のあるテーマがよいと思う。それが「音楽」。
  - ※高校生の音楽関連のパフォーマンスを披露する場。
  - ※バンド、歌、楽器、ダンスなど
- ◎会場は宇都宮。高校生をはじめ、大人の人たちにも気軽に観てもらえる場を目指したい。
  - ※高校生でもこんなイベントが開催でき、こんなパフォーマンスができる人もいるんだと知って欲しい。